

炎ゆる情熱☆
山口浩久通信
〔夏季・秋季合同号〕
vol.4
(2008秋号)
2008.10.1発行

はじめに



実りの秋、星野村内でも様々な催しが予定されています。日頃なかなか顔を会わせない方と会える機会でもあります。さて、みなさんご存知の通り、去る六月二九日に実施されました住民投票の結果を受けて、二〇一〇年二月一日、星野村は八女市に編入合併することが決まりました。合併まで残された一年四ヶ月は星野村にとりまして、大切な時間です。村民みなさんのご理解・ご協力も得ながら合併前にやっておかなければならない事を迅速に進めていく必要があります。「光陰矢のごとし」、お互いに時間を大切にして頑張っていきたいと思います！

終わりの始まり

二〇〇二年二月から始まった戦後最長の景気拡大は、格差社会を目に見える形づくり、地方や私たちの生活には好景気であるという実感がない、大企業主導によるものでありました。しかし、景気減速が叫ばれる現在、足

下は厳しい局面を迎えております。二〇〇六年に始まったアメリカ発のサブプライム問題、今年九月一五日に起きたアメリカ大手金融機関リーマン・ブラザーズの負債総額六四兆円というアメリカ史上最大の経営破たん等、日本への影響は避けられない状況です。景気拡大の恩恵を得られなかった地方でも、負の付けは回って来ます。これらの処理を世界の主要各国がどう行っていくのか、とりわけ日本政府の施策が注目されます。衝撃は大きいけれども一気にやってしまうのか、先送りを覚悟でゆっくりやるのか、これからが最終局面のはじまりとなります。

星野村に目を向ければ、閉村式までにやらなくてはならないこと、新八女市へつなげること等、抱える課題はたくさんあります。まさしく今は、星野村の「終わりの始まり」の時期でもあるのです。

議論を尽くし、合併が決定しました

昨年七月の選挙で当選させて頂いて以来、私は村民一人一人の自治意識や郷土愛を高めることが、星野村地域の発展につながると思っして参りました。昨年九月に始まった八女地区一市二町二村の合併問題から今年六月の住民投票まで、私なりに星野村の現状、将来を考え、意見を言い、真正面から行動して参り

ました。テレビ局や新聞社の記者が毎回議会の傍聴席に来られ、又、住民の方々へ直接自分の意見を述べる多くの経験をさせて頂きました。平成一三年から合併問題について広報等で先行きを注視してこられた住民の方々も今一度、星野村を見つめ直す良い機会になられたと私は思っています。

(2008.5.29 西日本新聞記事より)



(2008.6.3 毎日新聞記事より)



インターネットでは、私のホームページ上の日記・『これが“星のふるさと”星野村でございませ(現“星のふるさと”星野村から明灯のすすめ)』を出来る限り毎日更新し、私なりの考えを発信しました。全国各地から色々なご意見、ご批評を賜りながら綴った日記へは、五月や六月は、連日一〇〇〇ページビューを越えるアクセスがあり、市町村合併への関心の高さを感じました。今後ともインターネットの長所を活かし、星野村の更なるPRを続けていきたいと思っています。

市町村合併には、メリットとデメリットの双方があります。合併が決まりましたので、合併する場合のデメリットを最小限にできるように村民一丸となつてやらなければなりません。



(私のインターネット上での日記より)

星のふるさと”星野村から「明灯」のすすめ

2008.09.24 Wednesday

王監督への思い

昨日ジャイアンツの連勝のことを書きましたが、夕方には王貞治選手がプロ野球界から伝説のスターがユニホームを脱ぐのは、私も大変さびしいです。

さて、20数年前 私が大学時代4年間新聞配達をして、新聞店の担当地域に王さんのご自宅がありました。約3,000軒のうちの1軒が王さんのご自宅でした。常勝巨人の監督として大家に苦勞されていた時代だったと思います。

毎月月末の集金時に、新聞代金を頂きにくくのもお礼の一つでした。お礼、しませんでしたが、娘さんの家庭教師を申し込んだことあります。王さんが、転出掛けられる前にサインを頂きに行ったり、よくしました。

自宅近くで転道陣に囲まれていらっしゃるのも何となく見掛けました。

最幸の事が、東急東横線の都立大学駅でしたが、近の精気奥屋のわんぱくで目撃されたら、王さんのおかげで、おもしろい。

自己啓発ときめ細やかな指導の大切さ

六月定例会の期間中、六月一〇日に行われた本会議・一般質問の中で、今回私は、『星野村の医療費の現状認識と今後の対策について』について村長へ、それから『外国語学習について』教育長へそれぞれ答弁を求めました。

(村長への質問の要旨)

村長は、自立の村づくりをする意向を明確に述べられています。高齢化率上昇が、必ずしも医療費が上昇するとは限りませんが、年を重ねる毎に病気になるりやすい事は一般的であります。

◎そこで星野村の医療費の現状をどう把握されているのか、又、今後の医療費の見通しと健康づくりを含めた医療費抑制策をどう考えているのかを伺います。

◎今年二月に行われました健康づくり推進協議会での資料によりますと、成人健診の中で、各部位別では、肺がんを除いて受診率が低くなっています。がん検診の受診率を上げる対策として各部位の選択性ではなく、成人健診の中に全てを盛り込むことはできないのですか？

◎生活習慣病予防の為、健康づくりをどう実施されていますか？
又、数値目標の設定はされていますか？

◎日々健康への関心をもって頂く為に、健康である事の特典や改善された方への特典として、例えば温泉館きららの入浴券などを進呈したらどうでしょうか？

◎現在の国民健康保険会計の運営は健全ですか？

又、合併する場合と合併しない場合、住民へのきめ細やかな健康づくり対策はどちらが出来るとお考えですか？

(教育長への質問の要旨)

去る五月二六日、政府の教育再生懇談会が福田首相に提出された第一次報告の中で、日本の国際競争力を高める観点から英語教育の抜本的強化を強調、小学三年から英語を必修化させるほか毎年十万人の高校生を英語圏へ留学させることも提言されています。

◎そこで本村における小中学校の外国語学習の現状と効果について伺います。

◎自分は海外では仕事をしないから、英語の知識が必要ではないと思っっている生徒もい

長の意気込みを伺います。



ると思います。その為、まず英語をなぜ学習するのか、という目的を生徒に認識させるのが大切だと思いますが、動機付けはしつかりなされていますか？

◎外国語教師の派遣も取り入れられています
が、英語を身につけるには毎日英語に接する事が大切です。例えばネイティブスピーカーの発音による日々の英語での挨拶を、学校で時間を決めて毎日定刻に放送で流す試みをしてはどうかと思います。リスニング力の向上には効果があると思いますが、どうお考えですか？

◎英語は分る生徒と分らない生徒との差がほとんど開くと聞いております。土曜日などに、ボランティアの方、高校生や大学生に先生役をしてもらって受験英語や不得意なところを学ぶ講座をもつことは考えられますか？

◎三月、保護者へPTAから配られた「家庭学習についてのアンケート集計結果のお知らせ」の中で、家庭学習の時間がゼロの生徒もいます。星野村という少人数の学校であるからこそ、きめ細やかな教育が出来る生徒もそれに答えてくれと思います。教育

村長の真のリーダーシップが問われる！

九月定例会期間中、九月九日に行われた本会議・一般質問では、高木村長の責任問題や合併に向けた対応について、私を含む五名の議員が村長へ答弁を求めました。

そして私は、『市町村合併へ向けた村政運営について』村長へ答弁を求めました。

(村長への質問の要旨)

六月二十九日に実施された星野村合併住民投票の結果、星野村の合併が決まりました。住民投票実施に至るまでの村長の公での発言が、二転三転されたことに対して、合併をしない立場を主張した私としまして一部疑問を持ったのも事実であります。

その間、五月二二日の臨時会では自立を目指す姿勢をとられた村長に対して、支持をした議員の一人である私も、結果は否決となりましたが、平行線をたどる村長と議会の打開策として、村長不信任案にも賛同いたしました。

星野村始まって以来、初めての合併という大きな問題に真正面から向き合い、住民投票を通して市町村合併とはどんなものか？ 星野村の現

状、そして村政・議会にも多くの村民の方々が、関心を持たれたのは大変良かった事だと私は思います。

議会、自立派、合併推進派の三者が協定書を

を交わし、「合併する、しない」の双方の立場で星野村の将来を真剣に考えた住民投票であったと思います。合併に反対の票を投じた方が全て村長を信任したわけではなく、又、合併に賛成の票を投じた方が全て村長を不信任されたわけでもありません。「合併する、合併しない」のいずれかを選択する住民投票でありました。そして結果は出ました。

住民投票後、合併に向かって舵取りをしていく村長のリーダーシップを村民は注目していたところです。住民投票の結果に従うという、約束通り、合併に向けての業務はされていると思いますが、今日まで約二ヶ月半が経過する中で、二〇一〇年二月の合併前までに「星野村をこうするんだ！」という村長の意思、方針がなかなか見えてこない、村民に伝わっていないのではないかと、思うところがあります。

村長の辞職を求める一部住民の動きも、こうしたことが原因の一つであると思います。



四月～九月の主な活動

四・三	戦没者慰霊・公務殉職者追悼式	六・一一	定例会（総務常任委員会所管事務調査）	八・五	会出場激励会（星野中学校）
四・七	全員協議会（市町村合併住民説会について）	六・一二	定例会（経済土木常任委員会・総務常任委員会連合審査会）	八・六	平和祈念式典
四・八	星野小学校入学式来賓参加	六・一三	定例会（議案審議）	八・八	真名子ダム反対協議会総会
四・九	星野中学校入学式来賓参加	六・二〇	全員協議会（池の山荘他運営について）	八・一〇	東八女支部消防ポンプ操法・訓練
四・一〇	春の交通安全祈願祭（麻生神社）	六・二二	合併問題研修会（西堀教授&上勝町長講演 自立をめざす会主催）	八・一二	第八回臨時会（補正予算・財団運営報告）
四・一五	市町村合併住民説明会（星野校区）	六・二四	住民投票告示（選挙活動）	八・二九	全員協議会（補正予算など説明）
四・一六	市町村合併住民説明会（上郷地区）	六・二五	住民投票研修会（けやき体育館）	八・三一	福岡県読書推進大会（星野村大会）
四・二三	全員協議会（合併に関する今後の日程について）	六・二七	住民投票選挙活動	九・一	第九回定例会（一般質問・決算審査特別委員会）
五・一五	第三回臨時会（法定合併協議会離脱議案について）	六・二八	住民投票選挙活動	九・一一	定例会（現地視察・補正予算審査）
五・二二	第四回臨時会（村長の合併に関する意思表明について）	六・三〇	全員協議会（住民投票の結果を受けて）	九・一二	定例会（補正予算他）
五・二七	全員協議会（住民投票について）	七・二	常任委員長・議会運営委員長・副委員長研修会（福岡自治会館）	九・二〇	星野中学校体育大会来賓参加
五・二八	平成二〇年度シルバー人材センター総会	七・三	平成二〇年度星野村人権・同和教育推進協議会総会及び研修会	九・二二	秋の交通安全祈願祭（麻生神社）
五・二八	合併問題研修会（小値賀町議・立石先生講演 自立をめざす会主催）	七・一四	第七回臨時会（配置分合に伴う関連議案・補正予算について）	九・二八	星野小学校運動会来賓参加
六・二	第五回臨時会（星野村合併住民投票議案について）	七・一六	人権・同和教育地域懇談会		
六・四	星野村健康保険運営協議会	七・一七	東八女支部消防ポンプ操法競技大会		
六・一〇	第六回定例会（一般質問他）				

インターネットのホームページでも
私の日々の活動を公開しています！

<http://h-yamaguchi.com>

山口浩久 検索

「村民一人ひとりのロコミ」の協力を!

前回発行した季刊誌では、三月定例会で行った「ふるさと納税について」の一般質問の内容に触れました。そして四月三〇日に国会では、全国のすべての自治体に影響が出る可能性のある「ふるさと納税」の法案が可決されました。この法律によつて最大で1兆2千億円の住民税が、「納税者が選択した自治体」に移動する可能性があります。税が移動すると言うことは、増える自治体がある分、その裏返しで減る自治体が出るということです。

本村でも、六月議会で「ふるさと応援基金の設置・管理及び処分に関する条例」が可決されました。

「ふるさと納税制度」とは、みなさんの想いを寄付金として応援して頂いた場合、住民税や所得税が軽減される制度です。

- 星のふるさと寄付金は、寄付をされる方が、
- ① 元気なむらづくり活動の財源
 - ② 安心して暮らせる福祉事業の財源
 - ③ 石積みの棚田等、地域資源保全事業の財源
 - ④ 村の自然環境及び森林保全事業の財源
 - ⑤ 子育て支援、教育環境を充実させる財源
 - ⑥ その他の事業の財源
- 以上六つの目的の中から自由に選んで頂き、目的に応じて活用させて頂きます。

ふるさと納税制度によつて、今後将来、寄付金が多く集まる自治体と集まらない自治体の差が出てくると思います。まずは、星野村ご出身の方々への村民みなさんのロコミが大きな力となると思います。「星のツーリズム大学」のところで書きましたが、日本人が憧れる「星野流グリーン・ライフ」を皆さんと一緒に満喫し、情報発信し続ける事が、ふるさと納税にもつながっていくと私は考えています。「アイ・ラブ・ホシノムラ」を一緒に発信しましょう!



やこばいこ

半年ぶりの発行になった今回の季刊誌は、市町村合併問題を整理しながら、又、合併へ向けた私なりの思いを書かせて頂きました。合併しますと、職員数の削減や村長を始め村の三役がいなくなります。又、議員数も現在の一〇名から合併当初は一名になります。

行政に頼る時代から、「自分たちの地域は自

分たちで守る」という真の地域力が問われる時代となります。政治や経済も先行き不透明で、不安もあるかと思いますが、最後に頼れるのは、自分であり家族であり、そして近隣の人たちです。自分の能力向上に努めたり、近隣の人たちとの絆を深めながら来る合併に備えて頂きたい思います。星野村議会議員として一年三ヶ月が過ぎました。今後みなさんのお役に立てるよう努力して参ります。

一〇月一日から国土交通省の下、地域経済浮揚の柱として「観光庁」が発足しました。観光立村を目指し、日本一のおもてなしの心でお客様を迎えたい!

そんな思いで、元気なあいさつ運動・美化運動・健康づくり運動に率先して励みます。

山口浩久へのご意見・ご質問などをお気軽に
お寄せ下さい。(電話 五二―二二二一)

『小さな一歩・今日の一歩が
明日の星野村を創る!』

村議会議員 山口浩久のホームページ

<http://www.h-yamaguchi.com/>

E-mail: info@h-yamaguchi.com